



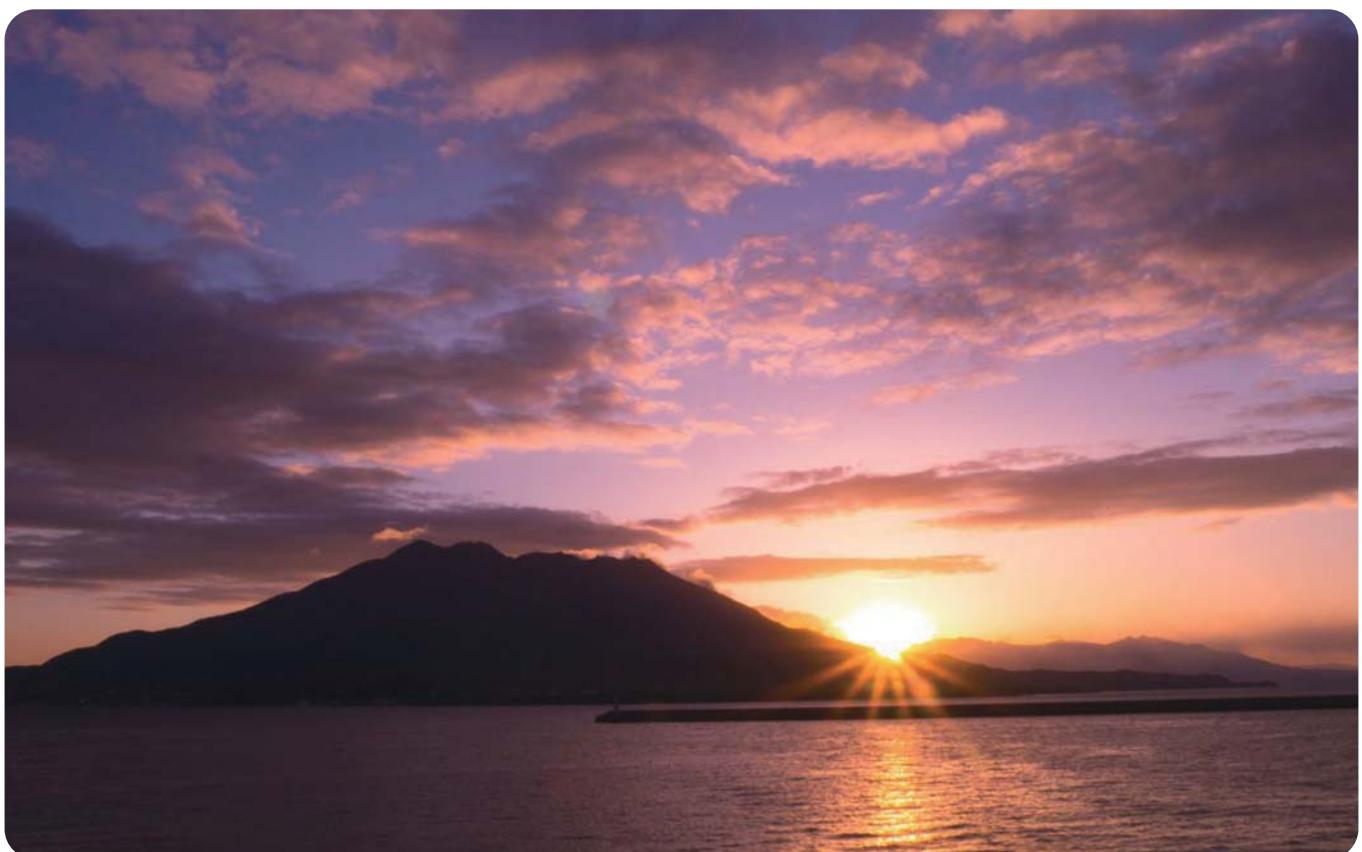
# かけはし

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

Vol.128

2020年度  
No.3

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



## ◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 充分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

## CONTENTS

*新年を迎えて	1	*リハビリの窓	5
*患者さんの権利と責務	1	*外来診察表	6
*令和2年度文化講演会について	2～3	*2月の出水郡医師会	
*医療機能情報提供について	3	日曜祭日当番医	7
*新人紹介	3	*病院ボランティア募集	7
*消防訓練を終えて	4	*編集後記	7
*お知らせ	4		



# 新年を迎えて

院長 今村 博



明けましておめでとうございます。

令和三年がはじまりました。昨年は、日本中が新型コロナ感染症に振り回された辛い一年でした。本年はワクチンの接種などで、新型コロナ感染症も鎮静に向かうものと信じています。みなさんとともに、穏やかで健やかな一年を過ごせることを祈念しております。

新型コロナ感染症が蔓延しても、救急の患者さんやがんなどで高度医療を必要とする患者さんが減るわけではありません。私たちは出水市、阿久根市、長島町からなる二次医療圏の救急医療と高度医療を担う中心的病院であるとの責任を心に刻み込み、新型コロナへの対応を含め、この地域の医療を守るためにも邁進して行きたいと考えております。

当院は外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、循環器内科、消化器内科、放射線科など、救急や外科系診療科、そしてそれをサポートする診療科がとても充実しています。本年もこれらの診療科を中心として、医療の質と安全の更なる向上に努力して参ります。鹿児島大学医学部のサポートが大きいのも当院の特徴で、常に都市部と変わらない最新の医療の提供を目指しています。

新型コロナ感染症を乗り越えた新たな一年を見据えて、これからも出水郡の住民のみなさんの健康と安心を支えて行くべく、なお一層尽力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 患者さんの権利と責務

### ～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報は保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来たさないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

# 令和2年度『文化講演会』について

去る2020年11月1日、第13回『出水郡医師会文化講演会』が、出水市文化会館マルマエホールにて開催されました。



来仙隆洋出水郡医師会長のご挨拶に引き続き、第一部は、出水郡医師会広域医療センター病院長の今村博による、『これから地域医療のありべき姿と当院の取り組み』という演題でした。まず、出水医療圏の今後の年代別人口や入院医療需要の推移、医師・看護師数の都市部との比較を最新のデータをもとに図説しました。人口減少の一方、高齢者は増加し、多くの住民が医療を必要とするが、その医療を担う医療者は確実に不足して行く現状があります。あるべき姿として、地域での包括的な医療・ケア体制を構築しながら、地域医療を守るために、地域医療をみんなで理解し、みんなで考える医療を目指し、地域に向けた文化活動と健康講座の一環として、2007年より行っています。今年は、新型コロナ感染症への対策としてソーシャルディスタンスなど万全を期して、参加者数を限定した中での開催でしたが、開場前より多数の方々にご来場いただきました。講演会の概要を以下に記します。

講演会は、地域に根ざした信頼ある医療を目指し、地域に向けた文化活動と健康講座の一環として、2007年より行っています。今年は、新型コロナ感染症への対策としてソーシャルディスタンスなど万全を期して、参加者数を限定した中での開催でしたが、開場前より多数の方々にご来場いただきました。講演会の概要を以下に記します。

第二部は、鹿児島大学大学院医学総合研究科微生物学分野の教授で鹿児島大学病院感染制御部部長の西順一郎先生より、最近のホットな話題である『新型コロナウイルス感染症のリスクと予防』についてご講演いただきました。西教授は、皆様ご存じの通り、県内での感染制御において中心的役割をされており、テレビや新聞などメディアでもご活躍されています。まず、微生物の種類やウイルスとの特徴をもとに、効果のある消毒方法など日常生活で即役立つ方法をお教え頂きました。次に、コロナウイルスについて、感染症における歴史と今回の新型コロナウイルスについて、感染症における歴史と今回の新型コロナウイルスについて、感

染しやすいのか、さらに感染から発症までの特異的な経過をたどることによる感染の広がりやすさ、など日頃からの疑問に具体的にわかりやすく解説いただきました。特に、新型コロナウイルスについては、環境中での生存期間、感染力などについても現時点で分かっていることをお話しいただきました。具体的には、空气中で3時間残存するので換気が必要、プラスティックや金属面上では2~3日間検出するので清拭消毒が必要、また、インフルエンザウイルスより残存しやすく、一般的に紙や布上ではウイルスは残存しないことを理解していれば、日常生活での様々な場面で具体的に対応できるとのことでした。



感染しやすいのか、さらに感染から発症までの特異的な経過をたどることによる感染の広がりやすさ、など日頃からの疑問に具体的にわかりやすく解説いただきました。特に、新型コロナウイルスについては、環境中での生存期間、感染力などについても現時点で分かっていることをお話しいただきました。具体的には、空气中で3時間残存するので換気が必要、プラスティックや金属面上では2~3日間検出するので清拭消毒が必要、また、インフルエンザウイルスより残存しやすく、一般的に紙や布上ではウイルスは残存しないことを理解していれば、日常生活での様々な場面で具体的に対応できるとのことでした。



(文責・石田)

最後に、  
①新型コロナ対策は、過剰になら  
ず、油断しないことが重要。  
②感染症のリスクはこれまでもあ  
つた。持続可能で負担にならな  
い感染対策の継続を。  
③感染症は誰でもかかる。差別・  
偏見ではなく、寛容の気持ち  
で。



## 医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

## 新人紹介



### 一般外科医師

なかしま たいき  
**中嶋 太極** 鹿児島県出身

これまで、鹿児島市内の病院だけでなく、川内や宮崎などの病院でも勤務しておりました。阿久根・出水のことは、まだ分からぬ点も多いですが、この地域のニーズに応えられるように頑張りますので、よろしくお願いします。

# 消防訓練を終えて



当院では年に2回の消防訓練を行っており、令和2年度 2回目の消防訓練を11月27日(金)に実施しました。「消防訓練を実施することで、病院関係者の危機管理意識の向上を図り、火災現場で効率よく安全に避難誘導することができる。」を訓練目標としました。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、通常よりも規模を縮小しての訓練となりました。

訓練は職員が少ない夜間帯を設定。3階集中治療室（ICU）横の浴室から出火し煙感知器が鳴動。初期消火を実施後、患者を3階食堂まで一時避難実施。避難終了後、管理者へ報告するまでを行いました。今回ICUでの出火設定ということで、人工呼吸器や持続的血液濾過透析（CHDF）、大動脈バルーンパンピング（IABP）などの医療機器を実際に患者に装着し訓練を行いました。

ICU患者は医療機器を多数装着しているため、重症患者一人を避難させるためにスタッフが3～4名必要になります。訓練後のアンケート結果でも「様々な機械を付けた患者さんに慣れていなかったため戸惑った」などの声が聞かれ、避難誘導時のスタッフ間のコミュニケーションの大切さを学んだようでした。



当日の訓練では、医師とICUリーダー看護師が中心となり、応援スタッフが何をすればいいのか、的確かつスピーディーに指示采配を行っていました。応援スタッフも自分がどの患者に付くのか、自分が何をするのかを声に出し伝え、明確にすることで患者を安全に避難させることができました。

当日の訓練では、医師とICUリーダー看護師が中心となり、応援スタッフが何をすればいいのか、的確かつスピーディーに指示采配を行っていました。応援スタッフも自分がどの患者に付くのか、自分が何をするのかを声に出し伝え、明確にすることで患者を安全に避難させることができました。

また患者役のスタッフからは、「避難後、機械類に気をとられており患者への声かけが少なかつた」「マスク着用しており声が聞き取りにくかった」との意見もあり、今回の反省点となりました。

今回の訓練での反省点を次回に活かし、来年度の消防訓練も速やかな対応が出来るよう、取り組んでいきたいと思います。

(文責・中里)



## 意見箱について



当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。

当院へのご意見・ご要望などをお寄せください。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。

お  
知  
ら  
せ



# リハビリの窓 ～人は作業することで元気になれる～

## ○はじめに

私たち作業療法士は、日本作業療法士協会が掲げている「人は作業をすることで元気になれる」というスローガンをもとに医療の現場や福祉の現場で働いています。今回、作業をすることの「作業」とはどういうことなのか、どうすれば作業をすることで元気になれるのかをお話します。

## 一・「作業」とは

私たちちは毎日いろいろなことをして生きています。身支度を整え、食事をして、仕事や学校に出かけたり、友達と遊んだり、趣味やスポーツを楽しんだりします。このように、日常私たちが行っている作業は、私たちの生活にやりがいや潤いをもたらすこともありますが、ストレスや悩みの元になることもあります。つまり、作業が私たちの健康に影響を与えます。私たちが生きている場所で、私たち自身がすることを「作業」と呼びます。

毎日同じ時間に同じような作業をすることもありますし、その日だけの特別な作業を行うこともあります。一週間とか一ヶ月といった単位で行う作業もあれば、季節や一年といった長い単位で行う作業もあります。いつも通りの作業が、いつも通りにできたとき、その作業を気に留めることはほとんどありません。ところが、いつも通りだと思っていた作業が、病気や怪我をしたときに、環境が変わることで、いつも通りの作業がいつも通りにできなくなつたりします。

## 二・『意味のある作業』の見つけ方について

①私たちの生活はその人にとって『意味のある作業』の連続から成り立っています。

老化や怪我、病気による心身機能低下により、これまでできていた家事や余暇活動が困難になる、退職や家族構成の変化により自由時間が増えるな

くなり、何らかの感情が生まれます。私たちの生活の中には、いろいろな作業があります。作業という視点で、これで気づけなかつたことに気づくかもしれません。昨日行つた作業について思い出してください。たった一つでも、とてもつらい作業があれば、その日一日が嫌な日になつてしまふこともあります。このように、日々の生活で、どんな作業をしてどんな気持ちになるかは、生活や人生をどのように捉えるかということに関係しているのです。

当たり前の何気ない日常の作業が持ちよくなれば、人は健康や幸福を感じることができます。その当たり前の日常の中に、自分にとつて意味のある作業が含まれており、それが何らかのきっかけでできなくなると、人は不健康になつたり、幸福を感じることができなくなつたりします。

『意味のある作業』を見つけましょう。私たちの生活にとって大切な活動的な生活を送るために、『意味のある作業』を再び行えることが重要です。

②自分の生活にとつて大切で必要な『意味のある作業』を見つけましょう。病気で入院や施設入所、通所リハビリテーションの利用、訪問介護による家事援助を受けている方々を対象に『日本作業療法士協会』があなたにとっての意味のある作業の調査を行つた結果、どの領域においてもその作業が身の回りの動作のみならず、家事動作や、趣味活動、社会参加まで幅広いニーズを持つていることがわかります。

(日本作業療法士協会のデータを一部抜粋)

人は、病気や身体に障害を持つた時、これまでの生活や望む人生が送れなくなつたと思います。そのことで生きる意欲を失い、介護が必要な状態になつたりします。しかし、身体や周囲に支障があつても生き生きとした人生や生活を送つている人々はたくさんいます。その人にとって『意味のある作業』の出会いが、こころを元気にし、自分の生活に目を向け、生き生きとした人生を作つていています。

『意味のある作業』が「できない」から「できるかも」へと思いを変化させます。ぜひ、日頃のご自分の習慣を振り返り、元気になれる『意味のある作業』をみつけてみませんか？

## ○おわりに

高齢者になつても、要介護になつても、認知症になつても、がんになつても、重度の障害があつても、「元気だ。健康だ。」と思える「健康感や幸福感」が持てるよう『意味のある作業』を見つけて心身共に元気な暮らしを目指しましよう。

引用：①「作業」って何だろう。吉川ひろみ

②日本作業療法士協会ホームページ

日常生活動作	日常生活関連動作	趣味活動	社会参加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人でトイレにいく</li> <li>・安全に歩くことができる</li> <li>・車椅子自分で運転する</li> <li>・身体自分で洗う</li> <li>・階段のぼる</li> <li>・着替え自分でできる</li> <li>・爪をきる</li> <li>・顔を洗う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炊事をする</li> <li>・ミシンを使う</li> <li>・字書く</li> <li>・車の運転をする</li> <li>・掃除をする</li> <li>・電話で話す</li> <li>・犬の散歩</li> <li>・猫にえさをやる</li> <li>・庭の草取り</li> <li>・友人の家にいく</li> <li>・洗濯をする</li> <li>・病院にいく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭菜園をする</li> <li>・友人と山登りにいく</li> <li>・友人とお茶をする</li> <li>・温泉にいく</li> <li>・旅行にいく</li> <li>・友人とカラオケにいく</li> <li>・洋裁をする</li> <li>・そばをうつ</li> <li>・魚釣りにいく</li> <li>・磯に貝とりにいく</li> <li>・グランドゴルフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚式に参加する</li> <li>・シルバー人材センターで働く</li> <li>・老人クラブに参加する</li> <li>・孫と遊ぶ</li> <li>・稲刈りをする</li> <li>・田植えをする</li> <li>・友人と食事会をする</li> <li>・墓参りにいく</li> <li>・友人とドライブにいく</li> <li>・じゃがいも掘りをする</li> </ul>



(文責：小浦

# 外来診察表

令和3年1月1日 現在

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
循環器内科	午前 小瀬戸一平 馬渡浩史	馬渡 浩史 末永 智大	有村 俊博 末永 智大		小瀬戸 一平 有村 俊博 立石 繁宜	予約検査
大石 充(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 ※都合により第4水曜日になる月もあります。						
(一般内科)	午前 (小瀬戸・馬渡)		(有村・末永)		(小瀬戸・有村)	
心臓血管外科	午前		[第2] (熊本中央病院・心臓血管外科医)			
呼吸器外科	午前午後 上田 和弘(鹿児島大学呼吸器外科准教授)	第2・4木曜日 要予約/要紹介				
脳神経内科	午前 児玉 大介 (鹿児島大学)					
血液内科	午前午後			島 晃大 (鹿児島大学)		
眼科	午前午後 鹿児島大学・眼科医					鹿児島大学・眼科医
脳神経外科	午前 手術日 午後 有田 和徳	有田 和徳 有田 和徳	有田 和徳 有田 和徳	有田 和徳 有田 和徳	検査日 岡田 朋久	予約検査 予約検査
整形外科	午前 泉 俊彦 吉井 理一郎 南曲 謙伍	手術日	南曲 謙伍 上園 忍	手術日	泉 俊彦 吉井 理一郎 鹿児島大学・脊椎専門医	予約検査
リウマチ外来 手の外科外来	午前 午後		恒吉 康弘 恒吉 康弘(第2・4・5)			
泌尿器科	午前 古郷 修一郎 上野 貴大	手術日	古郷 修一郎 上野 貴大	古郷 修一郎 上野 貴大	古郷 修一郎 上野 貴大	予約検査
放射線科	午前 堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		堀之内 信	
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)	午前午後	鹿児島大学耳鼻咽喉科 頭頸部外科学 教授 山下 勝			鹿児島大学・耳鼻咽喉科医	
消化器病センター	午前 消化器内科 消化器外科 (外科)	川畑 活人	上野 雄一 川畑 活人		上野 雄一	予約検査
	午前	手術日	今村 博 田辺 元	手術日	今村 博 久保 昌亮	瀬戸山 徹郎 手術日
	午前	(今村 博)	久保 昌亮	(今村 博)	下村 寛貴	瀬戸山 徹郎
	午後				消化器外科医 (15:00~17:00)	
	午後		今村/久保 (16:00~16:30)			
	午前	上野 雄一	上野/川畑	熊本大学・ 消化器内科医	上野/川畑	川畑 活人
	午後	上野 雄一	上野/川畑	熊本大学・ 消化器内科医	上野/川畑	川畑 活人
	午後	馬場 芳郎(鹿児島厚生連病院/肝臓内科)	第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介			
乳腺外来	午前午後	新田 吉陽(鹿児島大学/乳腺外科)	第1木曜日診察(受付 9:00~16:00) 要予約/要紹介			

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介)

※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に隨時対応。

## 2月の出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



日曜	市町	医療機関	TEL	医療機関	TEL
2月 7日(日)	出水	福永内科循環器科	62-8200	キッズクリニック	63-7707
	阿久根	内山病院	73-1551		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
11日(木)	出水	よしだ泌尿器科クリニック	63-7800	友愛クリニック	64-2101
	阿久根	鶴見医院	73-0553		
	長島	平尾診療所	88-2595		
14日(日)	出水	よう皮ふ科医院	63-1112	二宮医院	62-0167
	阿久根	脇本病院	75-2121	阿久根眼科	72-0040
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
21日(日)	出水	つかさとクリニック	67-5560	東医院	67-1861
	阿久根	いまむらクリニック	73-1700		
	長島	長島クリニック	88-6405		
23日(火)	出水	吉田耳鼻咽喉科医院	62-0170	高尾野診療所	82-0017
	阿久根	門松医院	64-6100		
	長島	鷹巣診療所	86-0054		
28日(日)	出水	楠元内科医院	62-8600	来仙医院	84-2005
	阿久根	山田クリニック	72-0420		
	長島	平尾診療所	88-2595		

### \*病院ボランティア募集\*

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

#### 活動内容

##### 1 身の回りのお世話

花を生ける、水を替える、箸・湯のみの洗浄、下膳、お茶ぐみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て

##### 2 話し相手

筆談、手話、本を読む等

##### 3 その他

院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募・お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター

総務課まで

TEL 73-1331  
(内線 371・374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。